
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年10月28日号

©2009年9月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年9月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は穏やかに上昇

2009年9月の国有企業の白麦、紅麦、混合麦の買付価格は、各々1トン当たり1,852元（前月比2.3%高、前年同月比13.2%高）、1,700元（同0.3%安、同12.1%高）、1,779元（同0.1%高、同15.5%高）であった。

鄭州食糧卸売市場の普通小麦価格は、同1,912.5元、前月比1.3%高、前年同月比15.7%高、優良品質麦卸売価格は、同2,045元、同0.9%高、同13.0%高であった。

2 現物および先物の国際価格は2006年4月以来の最低価格

2009年9月の国際小麦価格は、前3ヶ月に引き続き下落し、現物および先物価格は2006年4月以来の最低価格となった。

メキシコ湾における硬紅冬小麦（ハード レッド ウィンター、蛋白質含有量12%）の平均FOB価格は、前月比7.3%安、前年同月比35.8%安の1トン当たり201ドルとなった。カンザス先物取引所の硬紅冬小麦（ハード レッド ウィンター）平均先物価格は同7.0%安、同37.5%安の同173.15ドルとなった。

3 国内価格は連続2ヵ月国際小麦価格（CIF+関税等）を上回り価格差は拡大

2009年9月の国内小麦価格は、連続して国際小麦価格（C I F + 関税等）を上回り、価格差は拡大した。

米国メキシコ湾における硬紅冬小麦（ハード レッド ウィンター、蛋白質含有量12%）は人民元換算で1トン当たり1,373元と、国内優良小麦産地卸売価格を同672元下回った。港着・通関後価格は、同2,124元と同期の優良小麦の南方消費地域における卸売価格に比べ同171元安となり、価格差は前月より124元拡大し、国内小麦価格と国際小麦価格（C I F + 関税等）の価格差は、2005年以来で最大となった。

4 輸出量は増加、輸入量は大幅に減少

海関統計によれば、8月の小麦製品輸出量は、対前月比11.9%増、前年同月比77.5%増の2.41万トンと、単月では2008年4月以来の最大の輸出量となった。輸入量は、対前月90.2%減、前年同月の2.65倍の084万トンであった。

2009年1～8月の小麦製品輸出量は、前年同期比50%減の12.95万トン、主要輸出国では香港（総輸出量の63%）、アジア諸国等であった。一方、輸入量は、同50.5倍の51.79万トン、輸入金額では同22.1倍の1.17億ドル、主要輸入先国は米国（総輸入量の39.9%）、オーストラリア（同30.9%）であった。

5 2009/10年度の世界の小麦生産量は消費量を上回る

国際穀物理事会（IGC）の9月報告によれば、2009/10年度世界小麦生産量は前年比3.1%増の6.43億トンと予測され、一方、消費量は前年比0.31%増の6.43億トン、貿易量は前年比16.9%減の1.13億トンと予測されており、世界の生産量は需要量を2,300万トン上回り、この結果、期末在庫は前年比13.5%増の1.85億トンと予測されている。